

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	防府市	代表者名	市長 池田 豊		
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0835-25-2412		
担当者役職	デジタル戦略係長	担当者氏名	下田 絵里	連絡先E-mail	*****
住所	747-8501 山口県防府市寿町7番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	同じ地方自治体職員という立場から、実体験、時には失敗談を交えて、先進自治体の考え方やノウハウを凝縮して学ぶことのできる講演でした。 「必ずしもデジタルで解決する必要はない」「業務を出来るだけシンプルにする」「利用者目線で業務を見直して、対応可能な改善をしていく、又は新たなサービスを創造する」「デジタル化に合わせて規則等の既存ルールの見直し・改正を行う」等のDXマインドから、課題の細分化の手法や、他自治体の取組状況に関する情報収集方法等、基礎的かつ実践的なことについても教えていただけたので、デジタル化にあたり何から始めたらよいのか分からない当市のDX推進リーダーにとって、大変貴重
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年7月6日	講演（実地）	有	令和5年5月31日	675
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年7月13日	講演（実地）	10時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	360
3-2. 派遣場所	会場名	防府市役所	最寄駅	JR防府駅	
	所在地	山口県防府市寿町7番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩20分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 防府市職員	人数 61人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） 【DX推進リーダー（係長級以上職員）】 今年度から「デジタル技術を活用した業務やサービスを企画・立案し、他部局とも連携して業務を遂行する」役割を担うDX推進リーダーを全課に任命したが、DXとは何か、取り組む必要があるのか等の基礎的な知識が全庁的に根付いていない。 【DX推進ワーキンググループ（若手中堅職員）】 全庁から抽出された地域課題を、事業課のDX推進リーダーとDX推進ワーキンググループの協働に 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） 【DX推進リーダー向け「DX基礎研修」】 自治体DXを主導していくうえで土台となるDXマインドの醸成及び基礎的なサービスデザイン思考の理解を目指す。 【DX推進ワーキンググループ向け「課題解決助言支援」】 現存する地域課題に対し適切に目標設定から解決策をデザインしていく過程において、先進自治体の視点から助言を得ることにより、より良い解決策の創出を目指す。 アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） 【DX推進リーダー向け「DX基礎研修」】 DX基礎研修開催支援（講師）。2時間×2回（対象者を2回に分けて同内容を実施）。対象者約60人。 【DX推進ワーキンググループ向け「課題解決助言支援」】 課題解決策デザインの過程に対し助言支援。20分×4グループ（1グループ5人）。 支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい） 【DX推進リーダー向け「DX基礎研修」】 国の動向や地方自治体の未来を踏まえて、デジタル化推進の必要性や、デジタル化を行う上で重要な視点について御講演いただき、DX推進リーダーにデジタル化を自分事として捉える意識が芽生え、	

	DXマインドの醸成を図ることができた。 【DX推進ワーキンググループ向け「課題解決助言支援」】 ワークの進め方のアドバイスや、新しい視点からの解決アイデア、具体的なソリューションやツール、他市事例の紹介等の助言をいただいた。叶えたい姿（目標）の規模が大きく、課題の粒度が荒い又は明確な課題が自覚できていないものについては、 <u>適合する事例の例や、課題の深掘りが必要性等</u>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DX推進ワーキンググループについては、次回10月に再度助言支援の機会があり、グループのワークの進み具合によって、今回の助言によりフェーズが進展した同様の課題、もしくは新たに取り組み始めた別の課題に対し、それぞれ御助言いただく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添資料参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	DX推進の前提となる「問題の本質を捉え、市民目線に立った適切な課題を設定し、最適な手段により新たな事業を創出・変革できるスキル(D(デジタル)の部分よりもX(変革)を意識)」を持ったDX人材を育成することにより、自治体DXの自走化を目指す。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



